

2017年9月改訂

承認指令書番号 27動薬第1556号

貯 法 室温保存

水溶性複合ビタミン製剤
パンカル®G散**Pancal® G Powder**

パントテン酸は、動物の代謝に必要な物質であるCo-enzymeAとなり、ステロイド、脂肪酸、ポルフィリンなどの生体にとって欠くことの出来ない物質の合成に関与するとともに、脂肪、蛋白質、炭水化物の代謝にも関与するなど重要な役割を果たしています。パンカルG散は、このパントテン酸を主剤に、協同作用を営むビタミンB2、B6、ニコチン酸アミドを配合した複合ビタミン剤です。

【成分及び分量】

品 名	パンカルG散
有効成分	日局パントテン酸カルシウム
	日局リボフラビン
	日局ピリドキシン塩酸塩
	日局ニコチン酸アミド
含 量	パンカルG散1g中
	日局パントテン酸カルシウム…10mg
	日局リボフラビン……………0.3mg
	日局ピリドキシン塩酸塩……3mg
	日局ニコチン酸アミド……1.5mg

【効能又は効果】

家畜・家禽

- 水溶性ビタミンの補給
- 水溶性ビタミン欠乏による下記疾病(症状)の予防と治療
 - 牛:肝機能障害、ケトージス
 - 豚:皮膚疾患、繁殖障害
 - 犬、猫:皮膚疾患
 - 鶏:産卵率の低下

魚類

- 魚類の水溶性ビタミンの補給
- 魚類の水溶性ビタミン欠乏による疾病(症状)の予防と治療

【用法及び用量】

家畜・家禽

体重1kg当たり下記量を1日量として経口投与する。

馬:0.1g

牛:0.2～0.4g

豚:0.5～1g

犬、猫:0.5～5g

飼料に混和して投与する場合には、混和率を下記の通りとする。

豚:0.3～2%

鶏:2%

魚類

魚類に対しては、魚体重1kg当たり1日量として本剤0.2～2gを飼料に混ぜて連続投与する。

【使用上の注意】

「基本的事項」

1 守らなければならないこと
(一般的注意)

- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光、高温及び多湿を避け、密閉して保管すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【包装】

パンカルG散 1kg

【製品情報お問い合わせ先】

Meiji Seika ファルマ株式会社
生物産業事業本部 動薬飼料部
〒104-8002
東京都中央区京橋二丁目4番16号
<http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>

【製造販売元】

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。